

# 授業科目 NO. 505 成人看護学実習Ⅱ (慢性期看護実習)

Adult Nursing Practicum II (Chronic Care Nursing)

授業の形態： 実習

単位数（時間数）： 2 単位（90 時間）

開講年次・学期： 3 年次・前後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 成人看護、看護過程、慢性期看護、緩和ケア、セルフケア

## 1 金沢医科大学看護学部への到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

## 2 学習目標

### 1) 一般目標（GIO）

慢性的な経過をたどり、非可逆的な健康障害を有する成人期にある対象とその家族の特性を理解し、最適健康に適した看護実践ができる。緩慢な経過、増悪・緩和の繰り返し、進行性、ターミナル期に至る慢性疾患の特徴および看護支援の特徴をとらえ、成人期の発達段階における心理社会的特性を理解し、個別性を尊重した看護過程の展開ができる。

### 2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 慢性的な経過をたどり、非可逆的な健康障害を有する対象への健康の維持・増進を目指したセルフケア能力の獲得に向けた援助を説明できる。(①②)
- (2) 慢性期において緩和ケアを必要とする対象の全人的苦痛をアセスメントし、薬物・非薬物療法の原理を説明できる。(①②)
- (3) 加療を必要とする対象の疾患、病態、心理社会面をアセスメントし、援助を行う対象として統合して捉え、看護過程の展開における看護計画の立案ができる。(①②)
- (4) 看護過程の展開において、対象の特性と個別性を取り入れた看護援助の実践と評価を行うことができる。(①②)
- (5) 対象を取り巻く多職種連携の機能を理解し、看護師の役割を説明できる。(①②)

## 3 学習内容

実習の内容については、実習要項に示す。

## 4 評価

| 評価項目   | 評価割合 |
|--------|------|
| 定期試験成績 | %    |
| 実習成績   | 100% |
| レポート   | %    |
| 授業態度   | %    |
| 小テスト   | %    |
| その他    | %    |
| 合計     | 100% |

(特記事項)

## 5 教育担当者

科目責任者：村角 直子

教 授 村角 直子 (成人看護学)  
 准 教 授 北村 佳子 (成人看護学)  
 講 師 金松 瑞代 (成人看護学)

## 6 教育担当者の実務経験

科目担当教員は看護師としての実務経験を有している。

## 7 教科書

- 1) 小松浩子他 (編集)：成人看護学 1 成人看護学総論、医学書院
- 2) 鈴木久美他 (編集)：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える、南江堂
- 3) 宮下光令 (編集)：ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥緩和ケア、メディカ出版
- 4) 吉田俊子他 (編集)：系統看護学講座 専門 循環器 成人看護学 3、医学書院
- 5) 大東貴志他 (編集)：系統看護学講座 専門 腎・泌尿器 成人看護学 8、医学書院

## 8 推薦参考書

- 1) 石川ふみよ他 (監修)：疾患別看護の展開、学研
- 2) 日本糖尿病学会 (編著)：糖尿病治療ガイド、文光堂
- 3) 一般社団法人日本がん看護学会教育・研究活動委員会コアカリキュラムワーキング (編)：がん看護コアカリキュラム日本版 手術療法・薬物療法・放射線療法・緩和ケア、医学書院
- 4) 日本臨床腫瘍薬学会 (監修)：改訂第 7 版がん化学療法レジメンハンドブック～治療現場で活かせる知識・注意点から服薬指導・副作用対策まで、羊土社

## 9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 実習配置病棟の診療科の特徴を実習要項にて確認し、臓器の構造と働き、主要疾患の病態と徴候・看護・検査・治療など調べ、準備する。
- 2) 「成人看護学概論」「成人看護学方法論Ⅰ」「成人看護学方法論Ⅱ」の慢性期看護に関連する講義および演習内容を復習しておく。

## 10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 実習記録について、毎日コメントする。
- 2) カンファレンス・反省会、評価表により、到達度や今後の課題をフィードバックする。

## 11 履修上の注意事項

- 1) 実習中は遅刻・欠席をしないように、体調管理に十分注意して臨むこと。
- 2) 疑問・質問は、なるべくその日のうちに教員・実習指導者に確認すること。
- 3) 実習後の評価と内省は十分行うこと。
- 4) 感染予防策に関しては、「看護学部臨地実習の要項」に準ずる。

## 12 オフィスアワー等

随時訪問は可能であるが、事前に都合を確認すること。

村角 [murakado@kanazawa-med.ac.jp](mailto:murakado@kanazawa-med.ac.jp)

北村 [kitamu@kanazawa-med.ac.jp](mailto:kitamu@kanazawa-med.ac.jp)

金松 [nmizuyo@kanazawa-med.ac.jp](mailto:nmizuyo@kanazawa-med.ac.jp)